

出演者の一部をご紹介します。



遠藤いつ子 (ソプラノ)

静岡県出身。昭和音楽大学声楽科卒業、同大学音楽専攻科修了。財団法人日本オペラ振興会オペラ歌手育成部第20期研究生修了。中学校小学校の講師をする傍ら、東京池袋芸術劇場をかわきりに、広島、富士、京都、名古屋、新潟、山形、岩手、沖縄で行われた「高橋晴美の世界」のコンサートに出演。多くの人に「高橋晴美の世界」を伝えたいという思いが膨らみ、'08年3月に三島で初のリサイタル『遠藤いつ子 高橋晴美の世界を歌う』を開催、'10年3月には長泉で『遠藤いつ子 高橋晴美の世界を歌う』を開催し、大成功を収めた。4月には地元長泉に高橋晴美の作品だけを歌う混声合唱団「虹の音」を立ち上げた。現在、高橋晴美の作品を地元で歌い広めると同時に、各地のコンサートでも活躍している。



杉浦真理 (ソプラノ)

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。卒業後は高橋晴美氏と共に、2000年'03年と中米3カ国で、'02年にはイギリスのロンドンに於いて各大使館主催でリサイタルを行い、好評を博す。ポーランド ワルシャワフィルハーモニーと録音した高橋氏の作品「高橋晴美 イン ワルシャワ」で、'01年6月に CD デビュー。'04年5月には東京芸術劇場に於いて「高橋晴美愛のコンサート」に出演し好評を博した。その後、全国各地で行われた「高橋晴美の世界」コンサートに出演。'09年3月には盛岡で、オーケストラと合唱と共に「杉浦真理～高橋晴美の世界を歌う～」を開催し大成功を収めた。現在は子育てをしながら、盛岡で高橋晴美の作品を歌い広めている。



森美代子 (ソプラノ)

東京都出身。東京音楽大学音楽学部声楽演奏家コース卒業。同大学院修了。在学中、特待生奨学金を授与される。2005年二期会オペラ研究所オペラストゥーディオ第48期マスタークラス修了時、優秀賞受賞。平成18年度文化庁新進芸術家国内研修員。コロラトゥーラの美しい響きと、持ち前の表現力で聴衆を魅了しており、今後益々の活躍が期待されている。第16回奏楽堂日本歌曲コンクール歌唱部門第2位。第17回日本声楽コンクール第1位(併せて奥田良三賞、東京都知事賞、JTB賞も受賞)。第5回東京音楽コンクール声楽部門第2位(最高位)併せて聴衆賞を受賞。二期会会員。(社)日本演奏連盟会員。2010年秋のコンサートで初めて高橋晴美の世界を歌い、聴衆を魅了した。



芹澤薫樹 (ベース)

1975年静岡県沼津市生まれ。ピアノ、打楽器を経て大学入学後ベースを始め独学で習得、在学中より江戸ウィンドOrch)、ポップスと活動を多岐に広げる。カルメン・マキ、李政美(い・ちょんみ)、井上昌己、TARO かまやつ、navy&ivory、dorlis ほか多数のアーティストのコンサートやレコーディングに参加するほか、内堀勝&Big" LUSH" Band、羽田耕士ビッグバンド、セッション、自己プロジェクトなど精力的に活動している。高橋晴美の世界には東京はもちろんの事、三島、新潟、名古屋、庄内、盛岡、沖縄、韓国等多数参加している。



八木秀樹 (ドラムス、パーカッション)

猪俣 猛氏に師事。1977年、「林 忠男ジャズハーブトリオ」でプロ入り。「見砂直照とヌエボラティーンズ」「タイムファイブ」を経て、1981年、「高橋達也と東京ユニオンオーケストラ」に入団。その後、高橋真梨子、伊東ゆかり、小林 洋とシャイニー・ストッキングス等で演奏。1995年2月'96年4月と「高橋晴美トリオ」の一員として、パリ在仏日本大使館広報文化センターでコンサートを行い好評を博す。その後、全国各地で行われた「高橋晴美の世界」コンサートに出演。昨年は韓国ソウル広場で行われた日韓交流お祭りの式典演奏にも参加。5枚の「高橋晴美の世界」CDにも参加している。現在フリーでオールラウンドプレイヤーとし活躍中。

長年のキャリアに基づく正確な技術と色彩豊かな音色を持つ、アンサンブルを大切にするドラマー。ジルジャンシンバルエンドーサー。



大和田雅洋 (サクソフォン)

1990年東京藝術大学音楽部器楽科入学後、1992年に第1回ジュール・ド・ブリース国際サクソフォン・コンクール（スウェーデン）にてセミファイナリストとなり、1993年には第10回日本打楽器コンクールサクソフォン部門第2位となる。1996年同大学大学院修士課程終了。2000年第12回ワールド・サクソフォン・コンGRESS（モントリオール/カナダ）出演。現在東京藝術大学音楽学部講師、洗足学園音楽大学講師。日本サクソフォン協会運営委員。高橋晴美の世界には、1994年椿山荘フォーシーズンズホテルディナーショーを皮切りに、日本各地のコンサートに参加している。



町田文善 (まちだ ふみよし) (ギター)

ギターを京本輔矩氏に、演奏理論を弥政杏介氏に師事。1977年日本ギタリスト協会 主催第8回ギター新人賞選考演奏会で新人賞受賞（第1位）。1981年ソロデビュー。以後各地でソロ、ギターデュオ、ギターアンサンブル、マンドリンアンサンブルや様々な楽器、歌手と共演する一方で後進の指導にも力を注いでいる。現在、日本ギタリスト協会会員、高崎演奏家協会会員。



続木力 (つづきちから) (10ホルズ、クロマチックハーモニカ奏者)

1958年京都生まれ。高校時代 妹尾隆一郎の演奏に接し ブルースハーモニカの独学を始める。80年頃よりパリを中心にヨーロッパの路上で演奏活動を行う。数多くの路上演奏家とのセッションを通し ノージャンルな独自の演奏スタイルを磨いた。88年よりフランスのシンガー・ソングライター、Jaques HIGELIN (ジャック・イジュラン)をレコーディング、コンサートツアーでサポート。92年に帰国し 東京を中心にジャンルを越えてライブ活動、レコーディングセッションを行っている。97年にリーダーアルバム「ディライト」をホリプロよりリリースした他、作曲家 ピアニストの谷川賢作とのDuo ユニット「パリアーソ」では7枚の CD アルバムを発表。 昨年はギターの小泉清人と「Duo Live」を発表した。現在は 谷川賢作、小泉清人、辻邦博(G. Vo)、六角幸生(Vo)、実兄の続木徹(P)をはじめ 主にジャズ系ミュージシャンとの活動を行っている。



大東晋 (おおつかすすむ) (パンフルート)

1959年旧浦和市生まれ。上智大物理科より哲学科編入・卒業。大学では聖歌隊に所属、子供の頃よりクラシックギターに親しみ演奏家を目指すも無理な練習がたたり指を痛め断念、その頃ザンフィルの演奏を通してパンフルートと出会う。卒業後ルーマニアをしばしば訪れこの楽器の奏法および楽器製作を学ぶ。

今までの演奏会として1995、1996年奏楽堂、1998、1999年川口リリアホール、和光市サンアゼリアホール・ブリリアントコンサート、2000年文京シビックホール、2002年横浜市フィリアホール、2005年埼玉芸術劇場、また毎年のようにルーテル東京教会での演奏会など数多くの演奏会を行う。ルーマニアにおいても2000年クルージュ市のクルージュ音楽大学においてコンサート、2001年ブカレストにおいて友好コンサート出演。2004年10月クルージュ市・民俗オーケストラのメンバーとして演奏会出演、その模様はルーマニア全国に放映された。

・2005年9月名古屋博においてルーマニア館で演奏、同12月ルーマニア大使館でコンサートを行うなどルーマニア音楽の紹介にも力を注いでいる。

・2007年9月ルーマニアのパンフルートの第一人者コルネル・パナ氏の来日公演では日本各地で歓迎演奏を行った。

・本来羊飼いの笛、また祈りの笛であったパンフルートの音色を生かし、各地で林の中のコンサートや教会でのチャペルコンサート、サロンコンサートや病院コンサート、フォークダンスの伴奏なども行っている。演奏活動と平行して楽器製作にも力をいれ、高品位な楽器を提供している。

読売日本テレビ文化センター浦和および荻窪講師、音楽芸術家協会会員。

ホームページ 「牧神の笛」 <http://www.geocities.jp/musicapan/>

ライブ映像 ユーチューブ <http://www.youtube.com/user/musicapan>